

# 海上保安庁における運用状況

## ～ 活動時の通信状況 ～

3月12日の活動状況の例

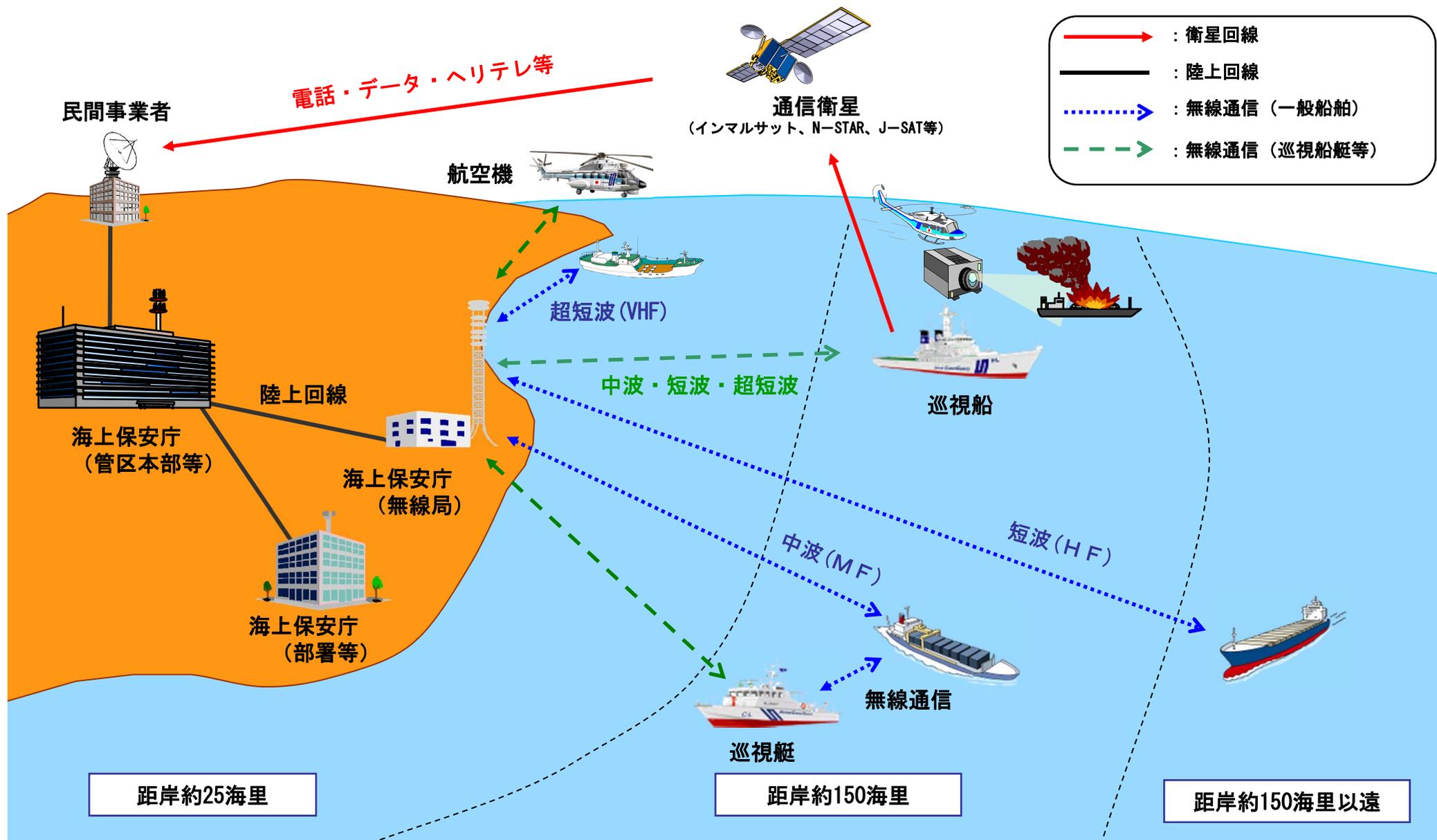
**【事案 A】**



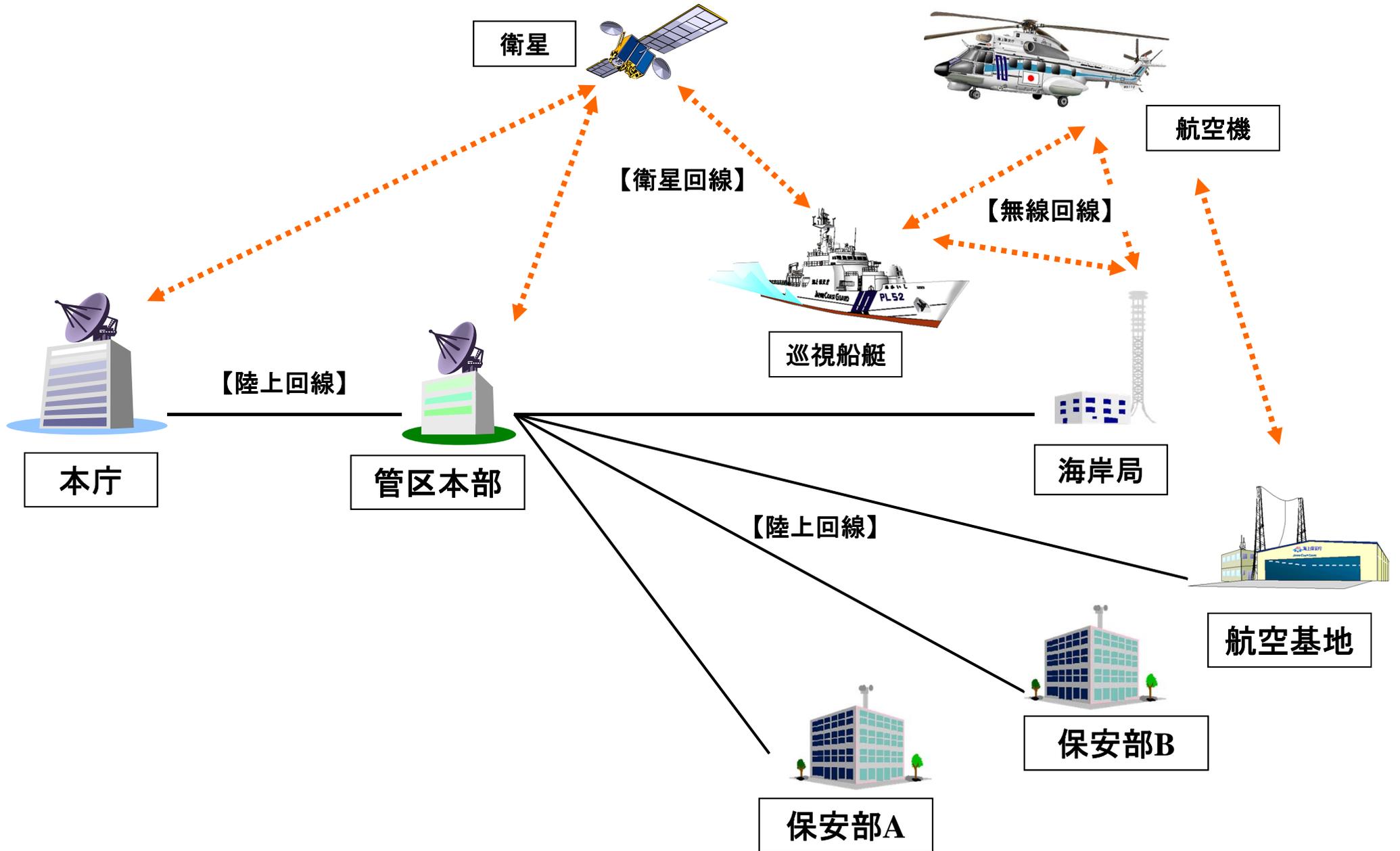
**【事案 B】**



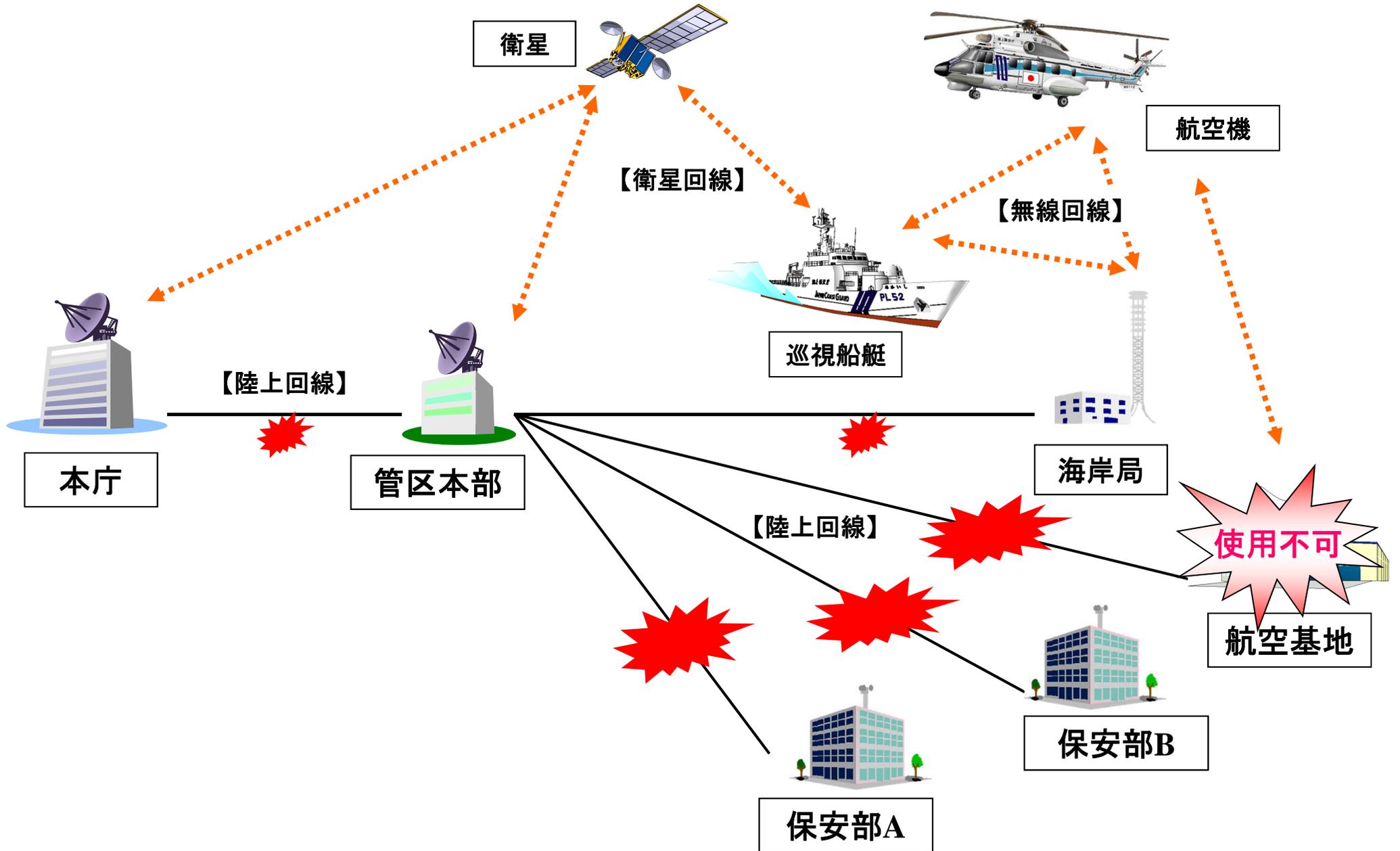
# 海上保安庁の通信システムの概要



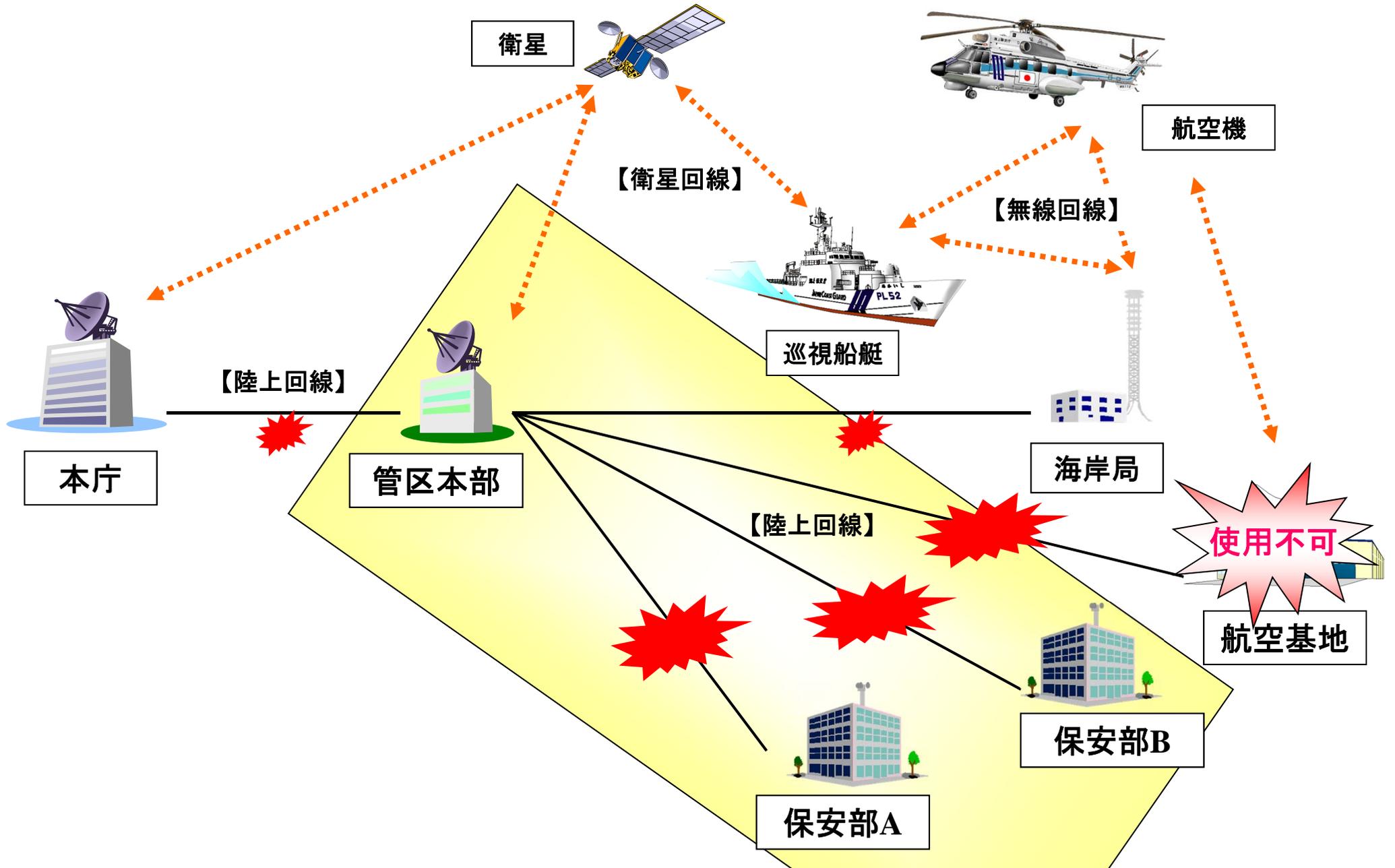
# 海上保安庁の部内通信システム (通常時)



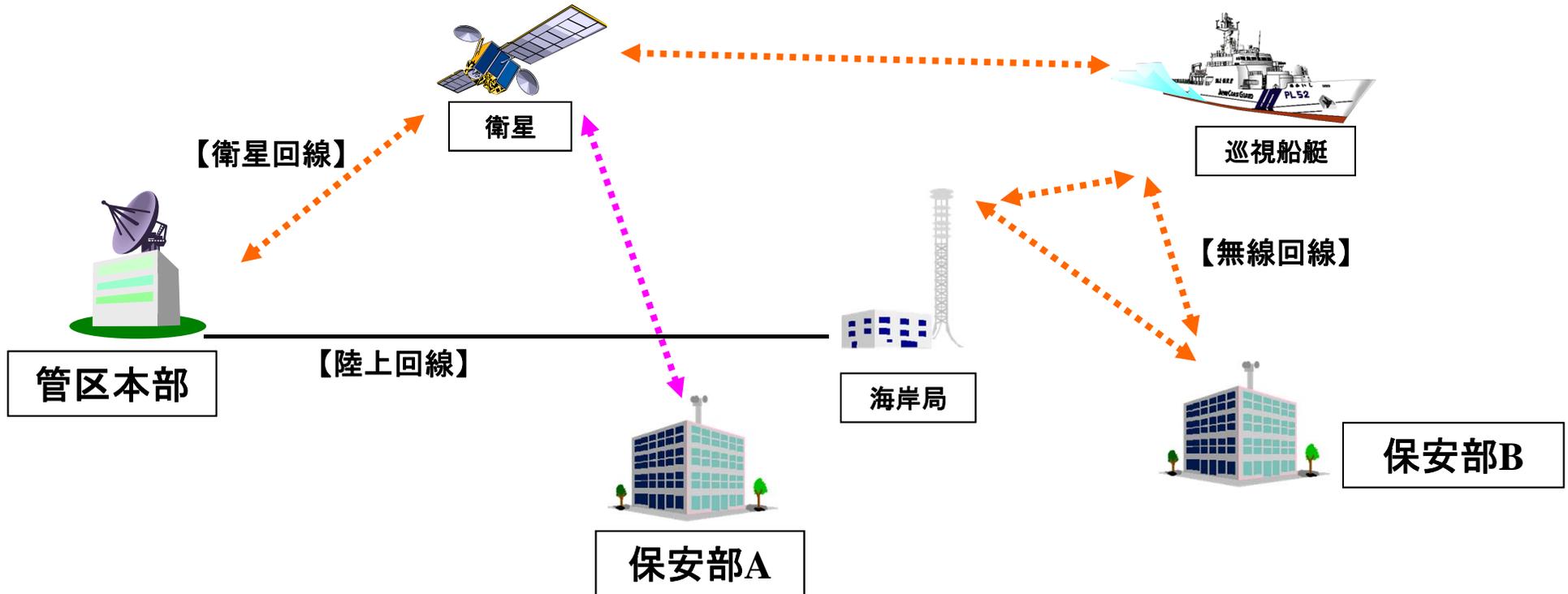
# 震災による被害状況



# 震災による被害状況



# 震災後の運用状況 (現場本部と部署)



3/11 3/12 3/13 3/14 3/15 3/16 3/17 3/18

衛星回線(県防災無線)

常設(保安部Aのみ使用)

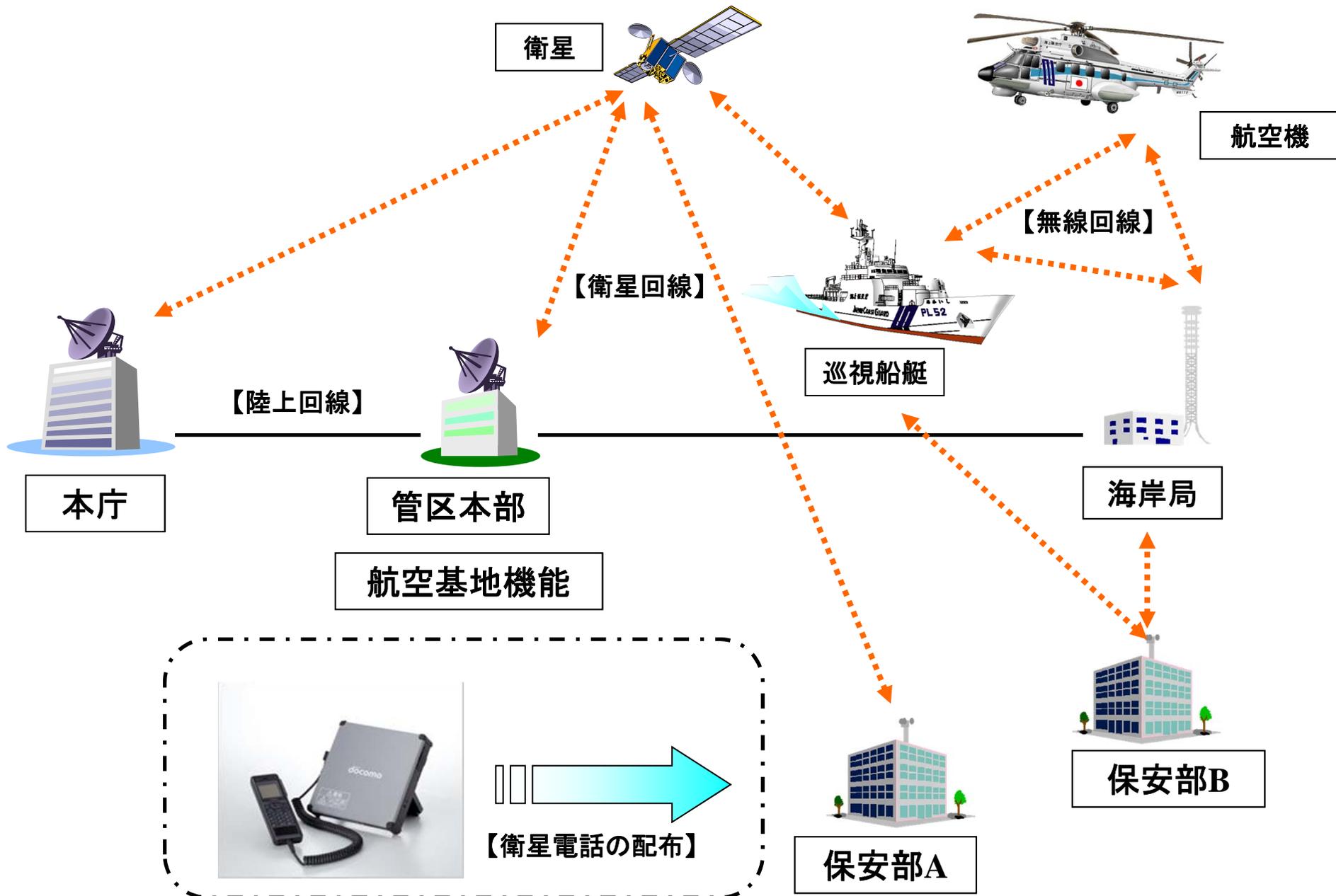
衛星回線(携帯電話)

3/12～順次配布

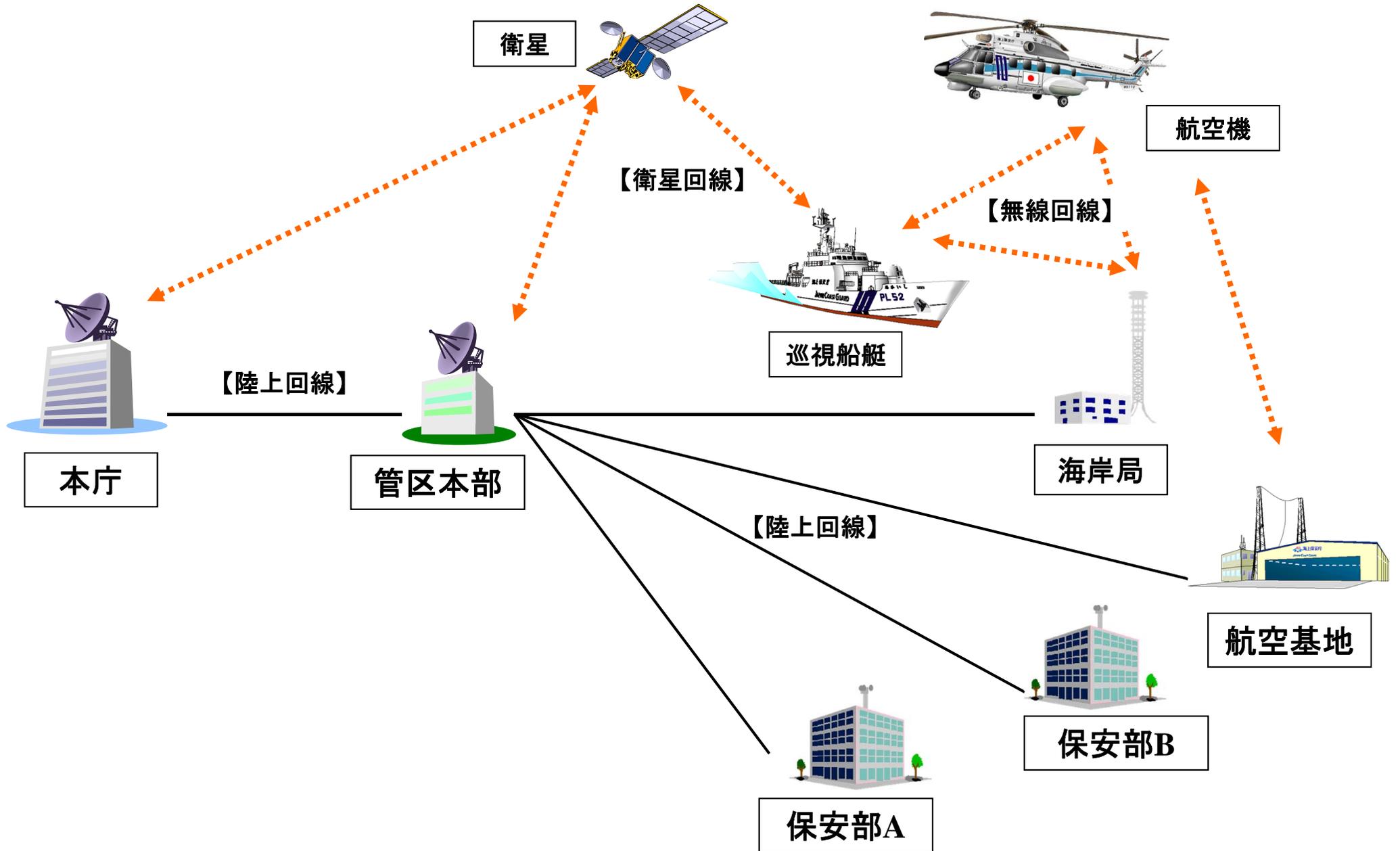
無線回線(無線電話)

常時可(巡視船及び隣接海岸局経由)

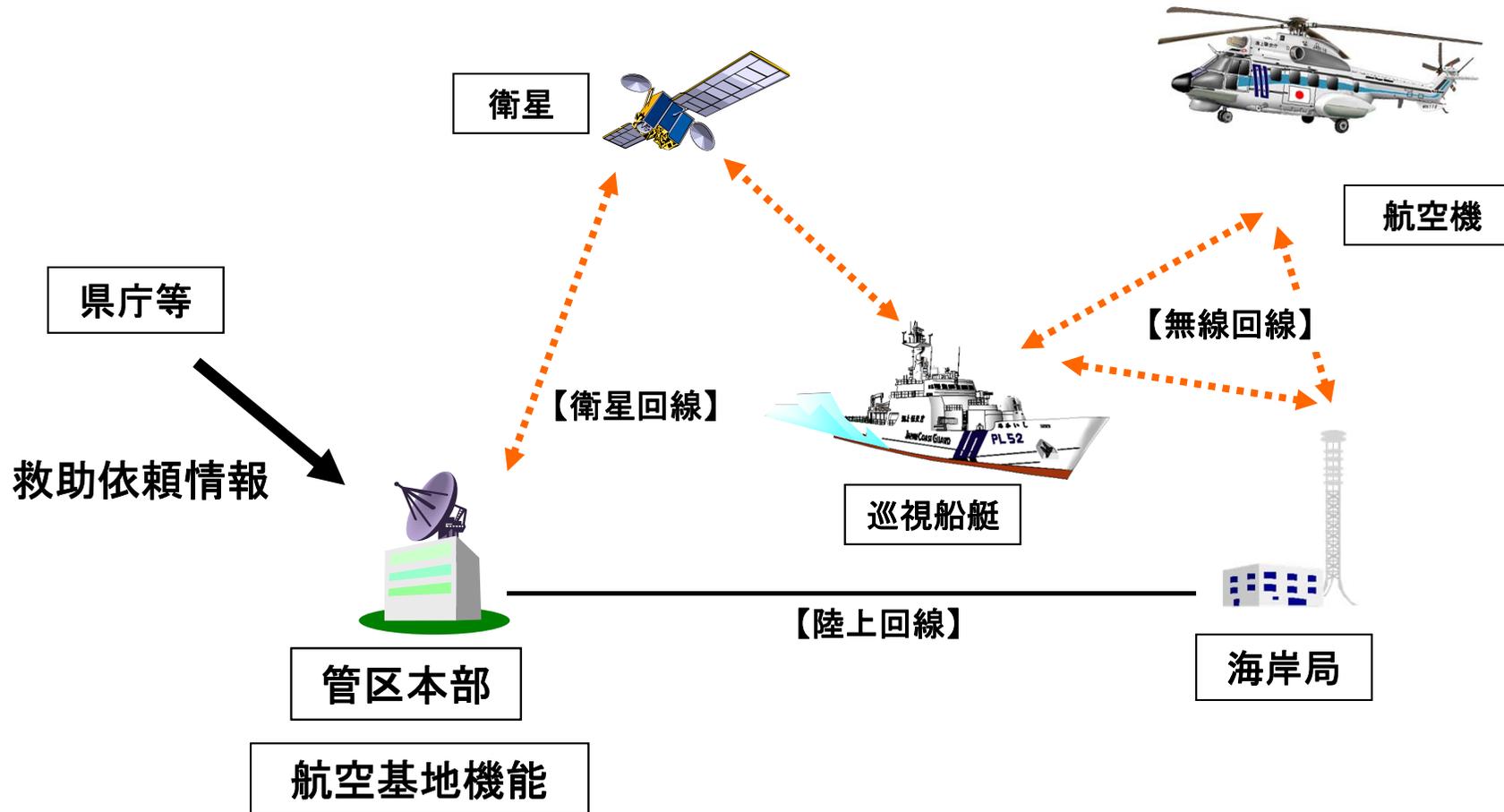
# 海上保安庁の部内通信システム (震災後)



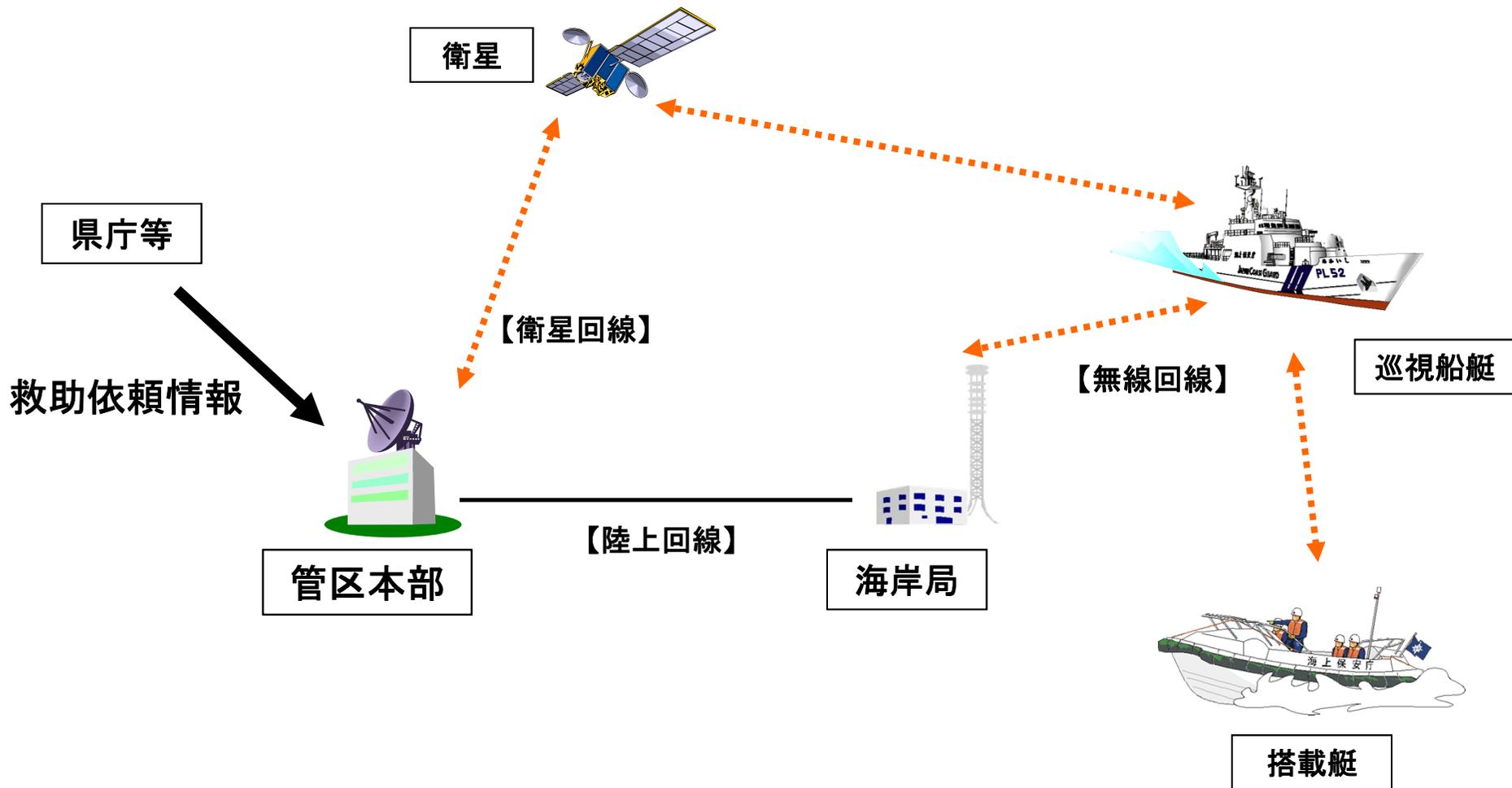
# 海上保安庁の部内通信システム (通常時)



# 事案A (航空機による救助)



# 事案B (搭載艇による救助)



# 課題と対策

## 【課題】

陸上部署間における通信手段は、民間事業者が提供する陸上回線網を利用しており、津波等の災害時において被災地近傍部署のこれら回線網が途絶する蓋然性が高い。

## 【対策】

予備の陸上回線や衛星回線の端末等を保安部署に整備することを検討している。